

いま!この一冊!

いっさつ



『ニ平方メートルの世界で』

文/前田海音 絵/はたこうしろう

小学館 E/M 3年生~

札幌の街にいらしている小学3年生のわたし。わたしは生まれた時から入院をくり返している。だから、わたしの世界のすべては病室のベッドを取り囲むニ平方メートルだけ。

わたしが入院すると、いつもお母さんが付き添ってくれる。それはうれしいけれど、その反面、3歳上の兄はひとりで身のまわりのことをしなくてはならない。わたしは、そのたびに申しあげない気持ちになる。

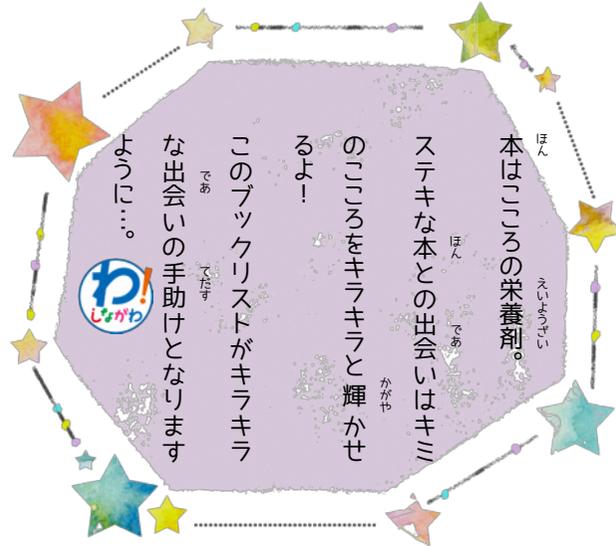
そんなある日、わたしは病室で大発見をした。

わたしはひとりぼっちじゃなかったんだ!

「子どもノンフィクション文学賞」大賞を受賞した前田海音さんの作文を絵本化。

海音さんが書いた、「生きていることの素晴らしさは気づきにくい」、この言葉がたくさんの人に届きますように…。

すべての年代の子ども達に読んでもらいたい一冊!



としょかん 図書館おすすめブックリスト



キラ
キミのところに☆めきを☆
しょうがくせい 小学生



『ビブリオバトルへ、
ようこそ!』

作/淡野京子 絵/森川泉
あかね書房

93/11

小学5年生の袖希はひとつ先輩の幸哉くんに憧れている。図書委員会で「ビブリオバトル」が開催されることになり、袖希は幸哉くんに注目されたい一心で、挑戦することに! 勝つことだけにとこだわっていた袖希だったが、バトルを通じてたくさんの本と出会い、図書館と本が大好きになっていく…。

2021年12月11日、五反田図書館でも中高生による「ビブリオバトル」が開催されます。知的書評合戦“ともいわれるビブリオバトル、この本を読んであなたも観戦してみませんか?

2021年冬号
編集・発行: 五反田図書館

1・2ねんせい〜

『ふまんばかりのメシュカおばさん』

こぶくしゅ 好望社

作/キャロル・チャップマン

E/チ



絵/アーノルド・ローベル 訳/こみや ゆう
小さな村にすむメシュカおばさんは、朝から晩まで不満ばかり。ある朝、舌にチクッと痛みを感じると、その日からおばさんの不満がどんどん現実になっていって…。

幸せをつかむには、いつも前向きな言葉をあおれず!

3・4ねんせい〜

『どっちでもいい子』

いわさきしよてん 岩崎書店

作/かさいまり 絵/おとないちあき

93/カ



いつも優柔不断で自分の意見を言えない小学4年生のはる。新しい友達を作りたくてもなかなか自分から声をかけられない。そんななか、クラスメイトがはるのことを「いてもいなくても、どっちでもいい子」と言っているのを見てしまい、ショックをうける。

しかし、夢中になれるヒップホップダンスと出会ったことで、少しずつ変わっていく…。

5・6ねんせい〜

『じりじりの移動図書館(ブックカー)』

作/廣嶋玲子ほか 講談社

93/シ



こちらは移動図書館「ミネルヴァ号」でございます。白いひげのワタクシが館長、黒い制服に身をつつんだ女性が運転手。もちろん車内にはたくさんの本がまつまっていますが、あまり夢中になると危険ですよ。

次の目的地はあなたの知らないセカイかもしれませんから…。

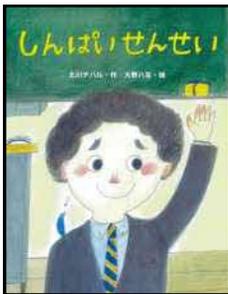
人気児童文学作家5人による夢の傑作、第3弾!

『しんぱいせんせい』

佼成出版社

作/北川チハル 絵/大野八生

93/キ



たつやの担任は新人のしんぱい先生。「大丈夫かいなあ」が口癖。だから、たつやは心の中で「しんぱい先生」と呼んでいる。人見知りじゃべれないたつやをいつも気にかけてくれるが、それがなんだか息苦しい。

そんなある日、遠足で訪れた動物園で、しんぱい先生が買ったばかりの傘をなくしてしまって…。

新一年生と新米先生の成長物語。

『コレットとわがまま王女』

瑞雲舎

作/絵/ルイス・スロボドキン 訳/小宮由

93/ス



コレットの住む町に王女様が舞臺にやってくるようになった。なんでも王女様は雑音ひとつない静かな場所をのぞんでいられる。そこで町の人たちは音を出さないよう生活し、おしゃべりを控え、動物たちは鳴き声もれないようマスクをさせられ、大迷惑!

そんな時、マスクをつけられたこねこのシュシュがいなくなってしまう…。

コレットの町はいったいどうなってしまうのか!?

『キャンドル』

フレーベル館

作/村上雅郁 絵/遠田志帆

93/4



母を亡くした小6男子の螢一と女装男子の翔真は親友。ある日、幽霊がでると噂の備品室にはいった螢一に異変が起こる。謎の女の子の体験が、まるで自分のことのように頭に浮かんできた。

螢一をおそう謎の女の子の記憶、その記憶の主をさがしていきうちに、いろいろなことを諦めかけていた螢一の心に変化が起こる…。

『てんこうせいはおはなしやさん』

金の星社

作/北川チハル 絵/武田美穂

93/キ



引っ込み思案のみおのクラスに転校してきたゆうやくん。ゆうやくんは毎日、広場でおはなしやさんを聞いている。はじめはおもしろがって聞いていたみんなだったが、次第に飽きてしまい、ゆうやくんはひとりぼっちに…。

みおが勇気をだして広場を訪ねていくと、うれしそうに笑ってくれたゆうやくん。そんなゆうやくんに、みおはひどいことを言ってしまう…。

『トムと3時の小人』

ポプラ社

作/たかどのほうこ 絵/平澤朋子

93/フ



小学生のつとむは、古道具屋でおもしろそうな本「トムと3時の小人」を見つけた。図書館で同じタイトルの本を読んでみると、それはトムという少年と、ハト時計の中に住む小人との出会いの物語だった。

物語のつづきが気になって仕方ないつとむは、また同じ古道具屋を訪ねるのだが…。

つとむとトムの二つの物語が不思議な力で交わっていくファンタジー。

『さよなら、ぼくらの千代商店』

ちよしょうてん

作/中山聖子 岩崎書店

93/ナ



いつも不機嫌な父に気がつかってしまう英太、からだまじゆう母のことも、大好きなのに取っかしく感じてしまう翔也。様々な悩みや思いをかかえた4人の小学生たち。「ここではないどこかに行きたい」、そう願った彼らに起こった小さな奇跡とは…。

なつかしさと優しさに包まれる感動作。